



朝風

平成31年度
学校報No.39
令和2年2月7日
大仙市立
大曲南中学校

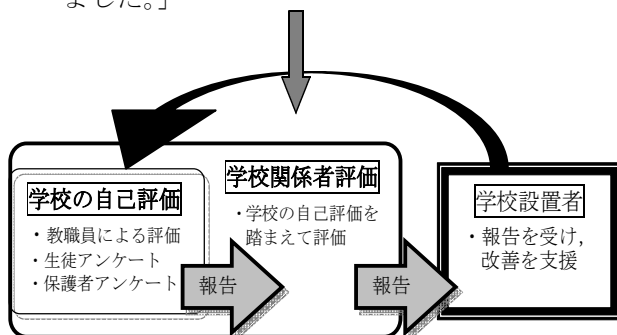


第2回学校評議員会

2月4日、今年2回目となる学校評議員会（兼 学校関係者評価委員会）を開催しました。今年度は、地域にお住まいの若林邦夫さん、高階美智子さん、鈴木直道さん、小松國夫さんの4名の皆さんに学校評議員をお願いしています。

第1回目は、6月18日に今年度の経営方針を説明するとともに、郡市総体の壮行会を見ていただきました。今回は、1年生から3年生までの授業を参観いただいた後に、今年度の学校の取組について説明し、それに対する評価をいただきました。これは、学校の「自己評価」結果についてさらに評価していただくことで、客観性と透明性をもたせることを目的としています。委員の皆様からは、生き生きと学ぶ生徒の姿や本校の営みに対して、高評価をいただきました。学校評価については20日（木）のPTA全体会でご説明いたします。（県学習状況調査結果についてもお話しします）

* [一連の学校評価の↓の部分の評価をお願いしました。]



スマホ時間 県が決定!?

先月、香川県議会のネット・ゲーム依存症対策条例素案についての報道がありました。この素案のポイントは以下のとおりでした。

- ◇ ネットやゲームの過剰な使用は睡眠障害や引きこもりなどを引き起こし、国内外で社会問題となっている。
- ◇ 保護者は子どもを依存症から守る一義的責任がある。
- ◇ 保護者は依存症につながるようなスマートフォンの使用を1日60分、学校休業日は90分を上限とするルールを子どもに順守させる。

あなたはどうか考える？

先日、受験に向けた集団面接の練習の際に、このことについて、3年生の男子4名に意見を求めました。「自分の健康を守るためにも賛成だ。」「時間を守れない人がいる以上、県で決めるのはしかたがない。」と賛成意見が多かった中で、「香川県から出ればやっても良いと考える人もいるかもしれない。それでは自立した人間にはなれない。まずは、スマホの利用法について、自分たちの問題として家族でしっかりと話し合うこと、そして守る努力を続けることが大切だ。」という発言もありました。時間があれば、まだまだ活発な意見交換ができそうな雰囲気でしたので、聞きたい気持ちでいっぱいでした。自分の立場を明確にして意見を述べる3年生の姿に感心しつつも、スマホやゲーム使用が抱える問題の奥深さを改めて感じました。このことについて、ご家庭でも話し合ってみてはいかがでしょうか。



本校初!スケート教室



5日、雪不足で実施できなくなったスキークラスに替えて、本校初となるスケート教室を実施しました。午前中は県立スケート

場のリンクを貸し切った練習。スケート連盟の方々の指導で、1、2年生とも、みるみる上達し、午後は楽しそうな表情でリンク狭しと滑走することができました。初めての生徒も多く、貴重な体験となりました。保護者の皆様のご理解とご協力に感謝いたします。